2024年 第2号

北斗に継なげ

上磯中学校教育目標
☆考える生徒　☆心の豊かな生徒
☆根気づよい生徒　☆健康な生徒

上磯中学校通信　令和６年６月　１１日（火）発行

「 大きな行事を終えて、次へ」

北斗市立上磯中学校長　　浦田　慎一

６月となり周囲の木々にも緑が増し、過ごしやすい季節ではないでしょうか。
そういった中、今年最初の土曜授業を去る５月１１日に行いました。内容は、クリーン作戦ということで、校区の小学校でのゴミ拾いでした。本校の生徒は、それぞれの卒業した小学校に出向き、未来の後輩にあたる小学生の面倒を見ながらの活動となりました。さらに、次の日の日曜日には、北斗市の「海岸線クリーン作戦」にもボランティアで積極的に参加してくれて地域に少しでも貢献できたかなと、感じております。

さて、例年ですとこの時期、周りの小学校が運動会に向けて練習に励み、本校が体育大会という日程でしたが、猛暑による影響で、大きく変更をしました。２学期に行っていた、２年生の宿泊研修と３年生の見学旅行をもってきました。５月 16～17 日の函館での宿泊研修、22～24 日の東北での見学旅行、共に何とか天候に恵まれて無事に終えることができました。どちらの学年も、生徒の真剣な姿と笑顔が見られました。１学期の前半に、大きな行事を経験し、

これからの学校生活に生かしてくれることだろうと信じております。
６月 14 日には、体育大会です。今度は、１年生を含めての全校生徒による大きな行事となります。いつもとは違った、２・３年生のリーダーシップにも大いに期待です。平日ではありますが、保護者の皆様に、ぜひともご参観くだされればと思います。

最後になりましたが、いつも温かいご支援やご協力、大変ありがとうございます。子どもたちが地域を愛し、健やかに成長していけますよう、今後とも一層の努力をしていきたいと考えております。地域、保護者の皆様には、引続きよろしくお願いいたします。

生徒指導部より

本年度も生徒指導部における活動方針「自己実現を支援する積極的・開発的な生徒指導の展開と情報共有の促進を」を重点に活動していきたいと考えております。一人一人の生徒に夢を描かせ、そして、実現するために何が必要であるか考えさせ、それを実行できるように支援したいと考えています。今年度もよろしくお願い致します。

〇本校の生徒指導の大きな柱であるＡＴＭをキーワードとした、「Ａ：あいさつ」「Ｔ：時間」「Ｍ：身だしなみ」を集団生活の３原則の実践
〇３K をキーワード（K 考える力、会話する力、行動する力）としたいじめ防止の取組
〇法令順守、ルール順守、マナー・モラル意識

また、昨年度は**本校生徒が自転車乗車中に車や地域の方との交通事故が発生**しております。普段の登下校などにおいても自転車の乗り方について、マナー違反の事例の報告を受けております。まず第一に命の安全、そして周囲に迷惑をかけない乗り方が望まれます。
ご家庭においても、交通ルール順守について、お話ししていただけると幸いです。なお、ヘルメット着用と鍵を二つつけるダブルロックは、学校で推奨しております。

≪自転車通学・ご家庭の送迎に関わるお願い≫
〇学校前の道路および校門前のスペースへの駐車禁止を引き続き行っております。また、校地内へのお子様の送迎のための車の乗り入れは、生徒の安全確保の観点から絶対になさらないようお願い致します。（特別な事情がある場合には事前に担任までご相談下さい。許可証が発行されます。）今年度からは休日の部活動時は中学校の駐車場は自己責任において利用可能となります。
〇今年度も４月より自転車通学が始まっております、自転車の乗り方についての指導に力を入れていますが十分とは言えない部分もあります。保護者の皆様や地域の方々のご理解とご指導をお願い致します。

上磯中学校の評価・評定について

1、　評価について

(1)生徒の学習方法や教師の学習指導を改善するために評価を行います。
　評価とは、生徒の自ら学ぶ意欲や態度、思考力、判断力、表現力などを含めて学習状況を適切に判断することで、基礎・基本の定着および学びに向かう力や人間性を育むために行うものです。また、その結果を学習指導の改善に役立てます。
(2)評価の基本的考え方は以下の通りです。
①基礎的・基本的な学習内容の確実な定着
　→一人一人の達成状況をみる評価
②自ら学ぶ意欲や問題解決の能力、個性の伸長
　→個人内評価（良い点や可能性、進歩の状況を評価）
③目標に準拠した評価は、目的に応じて指導に生かされます。
　（何を努力すれば、次のステップにつながるか）

2、教科における評価

目標に準拠した観点別学習状況の評価を基本とします。

目標	観点	知識・技能
		思考・判断・表現
		主体的に学習に取り組む態度

(1) 目標は、学習指導要領に示されている事項を基本としており、教科の単元ごとに評価の観点、評価の規準が設定されています。
(2) 単元の中の評価を蓄積して、「生徒の学習状況」をそれぞれの評価の観点の達成度に照らし、ＡＢＣの３段階で評価します。
(3) 評価の場面・資料（主な例）は次のようなものです。

＜知識・技能＞
発表・発言チェック・単元テスト・授業の取り組み・ワークシート・ノート・課題・作品・実技
評価シート・学習カード　など
＜思考・判断・表現＞
単元テスト・授業の取り組み・ワークシート・ノート
評価シート　など
＜主体的に学習に取り組む態度＞
ノート・レポート記述・単元テスト・授業の取り組み・ワークシート・課題作品・評価シート・学習カード
など
※
評価の場面・資料は教科・単元によって異なります。
※学力テストの得点は基本的に評価の資料には含まれません。（含む場合は、教科より連絡があります。）

(4) 単元や教材ごとの評価を総括して、学期の評価とします。

3、評定の流れ

（1）観点別の評価から学期末の評定を導きます。
【 ○…妥当と判断される 】

	5	4	3	2	1
Ａ Ａ Ａ	○				
Ａ Ａ Ｂ		○			
Ａ Ｂ Ａ		○			
Ｂ Ａ Ａ		○			
Ａ Ｂ Ｂ			○		
Ｂ Ａ Ｂ			○		
Ｂ Ｂ Ｂ			○		
Ｂ Ｃ Ｂ			○		
Ｃ Ｂ Ｂ			○		
Ｂ Ｃ Ｃ				○	
Ｃ Ｂ Ｃ				○	
Ｃ Ｃ Ｃ					○

5	十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの
4	十分満足できると判断されるもの
3	おおむね満足できるもの
2	努力を要すると判断できるもの
1	努力を要すると判断できるもののうち、一層努力を要するもの

（2）学年末の評定は前期と後期の観点別評価を総括して行います。

4、特別活動の記録・行動の記録における評価

(1) 各項目に関して、「十分満足できる状態にあると判断される場合」のみ、「○」を記入します。
(2) 個人内評価となりますので、あくまでも個人の頑張りに対して評価されるものです。

5、総合的な学習の時間における評価

教科のように数値で評価せずに、活動や感想、考えなどに見られる学習の状況や成果などを、生徒の良い点や意欲をふまえて文章化して評価し、前期末に評価し通知表に記載されます。

6、特別な教科 道徳における評価

総合的な学習の時間における評価と同様に数値で評価せずに、生徒がいかに成長したかを積極的に受け止め、励ます個人内評価とし、学年末に文章化して通知表に記載されます。

7、評価・評定のご家庭へのお知らせ

上磯中学校では「評価のみ」１年間を前期と後期に分けて行っています。お子様の学習の成果は「通知表」を使って、それぞれ 10 月中旬と学年末の２回、各ご家庭にお知らせいたします（学年末の通知表には後期と１年間を通した成績等の両方が記載されます）。

8、その他

(1) 定期テスト・学力テストの得点は、『得点通知表』でお知らせします。各テスト後に１枚得点通知票（A4 サイズ）を配付しますので、そのまま家庭で保管してください（回収はしません）。テストが終わるごとに追記されたものがまた配付されますので、お子様の変化や成長の様子も見ていただければと思います。テストが終わった後には必ず配付されますので、お子様に確認してください。
※定期テストは、今年度より５教科（国語・数学・社会・理科・英語）のみとなります。
※今年度より、全教科の評価評定を判断するにおいて、単元テストを中心とした授業での評価場面を重視する形となります。日々の授業を生徒に大切にしてほしいという考えからとなります。

(2) 定期テストの２週間前より、上磯中校区の小学生も含めて『情報機器利用制限期間』（ゲーム、スマホ、タブレット等）を設けています。午後８時以降の利用を制限し、子どもたちにじっくりと学習に取り組む「時間」と「環境」をつくっていけたらと考えています。ご家庭でもルールなどを決めているかとは思いますが、校区内の全家庭から雰囲気を高めていく機会にしていきたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いします。

小中連携クリーン作戦【土曜授業①】

上磯中学校区の学校（上磯小学校・久根別小学校・谷川小学校・沖川小学校・上磯中学校）が協力して行っている「小中連携クリーン作戦」。２０１７年にスタートし、今年度で６回目になります。

中学生はそれぞれの出身小学校に出向き、小学生と一緒にゴミ拾いを行います。小学生の面倒を見ながら、リーダーシップを発揮しながら率先して地域や学校をきれいにする。中学生にとって大変有意義な機会となっています。

学校ホームページもぜひご覧ください。

https://hokuto.ed.jp/kamityu/

北斗市のホームページ
→「子育て・教育」
→「学校・教育」
→「小中学校」
→「北斗の学舎」
→「上磯中学校」